

令和4年度第6回むかわ町子ども化石くらぶ（ハドロキッズチーム）開催報告

開催日：令和4年11月27日（日）

実施場所：穂別町民センター

令和4年度むかわ町子ども化石くらぶ第6回の学芸員による実習・講演を実施しました。穂別博物館の西村智弘学芸員が講師を担当し、実習は「化石とは何か」をテーマに様々な教材を観察し、その後「西村学芸員の化石博士への道」と題した講義がありました。実習と講演の後に1月締め切りのポスター制作の説明などが行われました。

【5・6年生の部（午前）】

6名の会員児童が参加しました。



実習・講義の様子

実習では、アンモナイト（北海道産）、コハクの中の昆虫（バルト海産）、魚（ブラジル産）、100万年前のアサリ（千葉県産）・ウバガイ（ホッキガイ）（千葉県産）・メタセコイア（埼玉県産）、今のアサリ（北海道産）・ウバガイ（北海道産）・メタセコイア（穂別産）、マンモスの毛（ロシア産）、ヒトの毛などを観察し、どれが化石で、どれが化石でないかを考えました。実習は1時間ほど行いました。



化石（？）教材の一部



教材の観察



どれが化石かを考えていきます。

講演は1時間ほど行いました。講師からクイズが出題されましたが、あまり正解率が高くなかったです。穂別博物館で研究された鞘形類（しょうけいるい、イカ・タコの仲間）化石は覚えていてほしかった…（サービス問題ですよ！）。



左：講演でのクイズの様子。右：「特別なプレゼント」として、西村学芸員がむかし採集した石灰質ノジュールを贈りました（現在では岩石の採集が禁じられている産地に由来する貴重なノジュールです）。化石が入っているかもしれません。

【3・4年生の部（午後）】

16名の会員児童が参加しました。

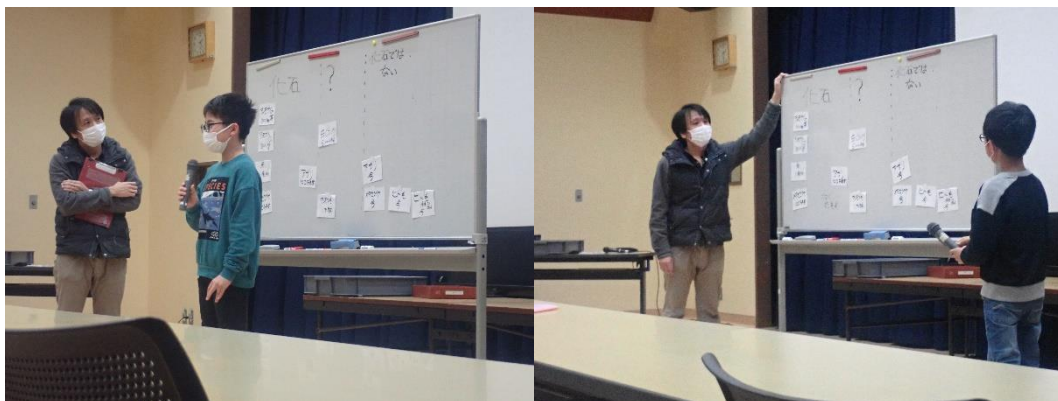


実習・講演の様子

実習の「化石とは何か」を50分ほど行いました。



教材の観察



どれが化石かを考えていきます。

講演は50分ほど行いました。講師からのクイズはこちらもあまり正解率が高くなかったです。穂別博物館で復元・展示されているモササウルスの名前は覚えていてほしかった…（簡単なサービス問題ですよ!!!）。



講演でのクイズの様子

11月27日の活動では、卒業生ボランティア（中学生）2名、博物館ボランティア2名の方にお手伝いをしていただきました。ご協力ありがとうございました。

むかわ町穂別博物館 学芸員 西村智弘
むかわ町経済恐竜ワールド戦略室 主任 太田晶